

# **OpenChain Workshop**

## **@ELC-E/OSS-E**

### **報告 (後半)**

**Panasonic Corporation**

**加藤 慎介**

**kato.shinsuke@jp.panasonic.com**

- ・ OSSコンプライアンスについて (Sony 上田さん)
  - Japan Workgroup で発信されたリーフレット作成の件
  - 対峙する他社・関係する他社に対して、OSSコンプライアンス順守をどのようにアプローチするか？
    - ・ 議論では、プロセス vs 実ソリューション、な面も
  - 企業で実務を担当しているようなメンバーからは、同じようなものが欲しい、という同意あり
    - ・ この方はドイツの企業

## ・その他の話題

(Workshopの内容以外で、Shane氏との会話のなかで、本日共有してOK、と確認したもの含む)

### － 紹介

- ・ 東芝がOpenChainのプラチナメンバーになったことが紹介された
- ・ SUSEがConformanceを取得したことが紹介された

### － ケーススタディの今後について

- ・ 社内のプロセス面、特にコードのContributionやOSS化、について、事例集めを考えたい (Shane)

### － その他

- ・ 次はインドのある企業がConformance取得を進めている
- ・ 12月6-7日のOpen Compliance Summit @横浜、の開催紹介
- ・ 2019年3月12-14日@CA 開催の Open Source Leadership Summit にあわせてOpenChainのWorkshopや会合などを企画予定

### － Workshopの音声データ

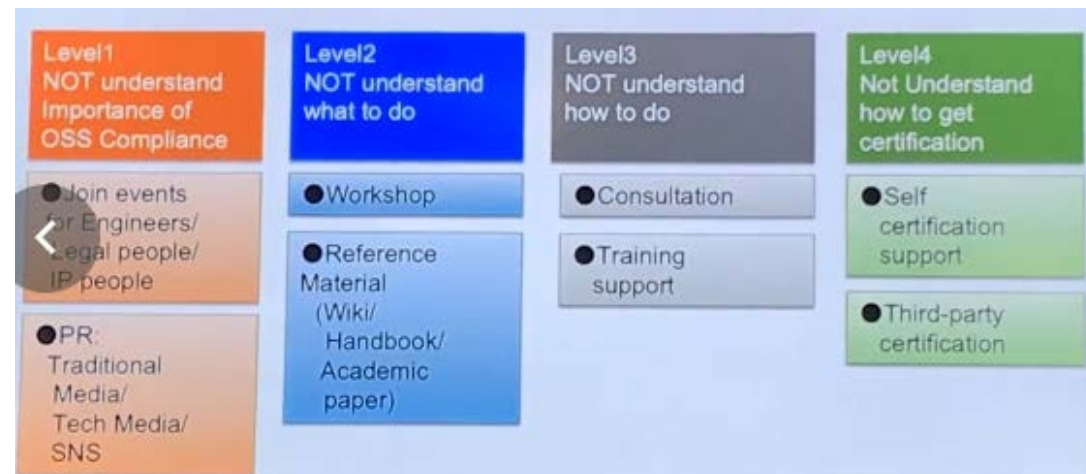
- ・ <https://www.youtube.com/watch?v=wrVAezhWWrc&t=749s>

- 10月22～24日で下記の3つのカンファレンスが共催。  
参加登録者2,000人。約15個のセッションが並列開催
  - Embedded Linux Conference Europe
  - OpenIoT Summit Europe
  - Open Source Summit Europe
- このなかで「Open Collaboration Conference」という種類があり、毎日1～2 Trackが関連するセッション。  
ここから数点紹介します
  - Keynoteと一部のSessionはYoutubeにあります
    - <https://www.youtube.com/playlist?list=PLbzoR-pLrL6qThA7SAbhVfuMbjZsJX1CY>
  - 一部のスライドはLFのサイトにあります
    - <https://events.linuxfoundation.org/events/open-source-summit-europe-2018/program/slides/>

- **Title : Best Practices and Lessons Learned Using GitHub for Corporate Open Source**
- **Speaker : Charles Eckel, Cisco (Cisco DevNet)**
- **概要**
  - **Cisco内でGitHubをどのように運用しているか, の紹介**
  - **さまざまな検討事項**
    - Owner, Administrators, Memberを管理するか
    - GitHubは子組織の仕組みがない
    - Public vs Private
    - Memberにrepo作成権限を与えるべきでない
    - Cisco以外のContributorをどうするか
    - ライセンスとコピーライト (BSD 3-clause と Apache 2.0 を推奨)

- **Title : Gaining Maturity in Open Source – A Model Cased on Sony Mobile’s Journey**
- **Speaker : Carl-Eric Mols, Sony Mobile**
- **概要**
  - **Sony Mobile のOSSの歴史**
    - 2008年から戦略的に使いだし, 2011年からはAndroid (Linux) のみに
  - **今はAndroidを使う場合のOSSをベースに貢献など実施**
  - **Engineering Driven でのOpen Source**
  - **Open Source Officer の役割**
    - さまざまなギャップの橋渡し, OSS成熟度の向上
  - **Business Driven でのOpen Source**
    - エコシステムの指揮, OSSベースのプロダクトでのイノベーション

- Title : BoF: Open Source Compliance in the Supply Chain
- Speaker : Shane Coughlan, The Linux Foundation
- 概要
  - 実際はBoFとまでいかず, ShaneさんからOpenChainの話など



- **Title : Leveraging Open Source Projects For Open Source Management – Status Update**
- **Speaker : Marcel Kurzman, Bosch Software Innovations**
- **概要**
  - **Open Source Management**
    - エコシステムの立ち上げと維持
    - パラメーターとして:ライセンス, 技術, 開発
    - 様々なツール:ToDo, SPDX, Fossology, など
  - **Boschは2つのアプローチでOSSを活用**
    - システムとしてOSSを活用
    - マネジメント面での改善とサプライヤー & パートナーとの協同 (OpenChain)

- Title : Promoting Greater Predictability in Open Source License Enforcement
- Speaker : Richard Fontana, Red Hat
- 概要
  - ライセンス (文章) で共有のものが使われる意味。事実上、ライセンスが標準化されているメリット
    - ・ ライセンス解釈の不確実性の低減, など
  - 一方で, リーガルリソースの共有につながっていて, 結果, 一つの裁判事例が他にも影響するリスク
  - そのようなリスクを低減する取り組み
    - ・ E.G. GPL Cooperation Commitment